

## 浜の活力再生プラン

令和 6 ～ 1 0 年度

第 3 期

## 1 地域水産業再生委員会

組織名	千葉県地域水産業再生委員会 銚子・九十九里地区部会
代表者名	坂本 雅信（銚子市漁業協同組合 代表理事組合長）

再生委員会の構成員	銚子市漁業協同組合、海匠漁業協同組合、九十九里漁業協同組合、銚子市、旭市、匝瑳市、横芝光町、山武市、九十九里町、大網白里市、白子町、長生村、一宮町、千葉県漁業協同組合連合会、千葉県銚子水産事務所、千葉県勝浦水産事務所
オブザーバー	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所神栖拠点、千葉県水産総合研究センター

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	銚子市（銚子市漁協管内） 沖合底びき網漁業（2経営体）、小型機船底びき網漁業（6経営体）、キンメダイ立縄漁業（37経営体） （令和 5 年 8 月 31 日現在）
-------------------	---

## 2 地域の現状

## (1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>銚子市漁業協同組合は、平成 8 年に銚子地区の 6 漁協が合併し設立された。銚子沖の漁場は栄養塩豊かな好漁場として古くから知られており、まき網漁業、沖合底びき網漁業、さんま棒受網漁業などの沖合漁業から、一本釣り漁業、はえ縄漁業、小型機船底びき網（板びき網）漁業などの沿岸漁業まで、様々な漁業が営まれている。</p> <p>銚子市漁協管内には銚子漁港及び外川漁港があるが、市場機能を有しているのは銚子漁港のみであるため、外川漁港に水揚げされたもののほとんどは銚子漁港へ陸送される。銚子漁港は特定第 3 種漁港に指定されており、廻船の利用も多い。毎年約 200 種類の魚種が水揚げされ、水揚量は平成 23 年から令和 4 年まで 12 年連続で日本一である。銚子漁港における令和 4 年の地元船の水揚量は 35,141 トン、水揚金額は 4,508,524 千円となっており、廻船も含めた銚子漁港全体の水揚量の 15%（全体：237,028 トン）、水揚金額の 20%（全体：22,848,405 千円）となっている。</p> <p>地元船を見ると、銚子地域の主要な漁業としては、水揚量の大半を占めるまき網漁業に加え、多様な魚種を水揚げする沖合底びき網漁業、小型機船底びき網（板びき網）漁業、外川漁港を基地として、県内有数のキンメダイ水揚高を誇るキンメダイ立縄漁業などがある。令和 4 年の水揚割合では、沖合底びき網漁業が地元船水揚量の 1.7%（600 トン）、水揚金額の 8.9%（399,749 千円）を占め、底生魚のヒラメ、カレイ類を始め、イカ類、エビ類、カニ類などを漁獲している。また、小型船漁業においては 10 トン未満船による小型機船底びき網（板びき網）漁業が水揚量の 0.8%（269 トン）、水揚金額の 3.6%（162,684 千円）を占め、マダイ、ヒラメ、ショウサイフグ、サルエビなどを漁獲している。キンメダイ立縄漁業は、水揚量では 1.4%（477 トン）だが、水揚金額は 22.5%（1,013,395 千円）を占めており、ブランド化による単価向上の取組を漁業者が中心となっており、「銚子つきんめ」として千葉ブランド水産物に認定されている。水揚割合の多くを占めるのはイワシ類やサバ類などの多獲性魚を漁獲するまき網漁業だが、多様な魚種の水揚げを支える底びき網漁業や小型船漁業は銚子地域の特色でもあり、地域の主要な漁業となっている。</p> <p>多くの漁業種類において、燃油価格の高騰、魚価の低迷、漁業の担い手不足、就業者の高齢化、漁船の老朽化、漁場環境の変化に伴う漁獲対象種の変化等様々な要因により、経営体</p>
---

数の減少が続いている。銚子市漁協の正組合員数は、平成10年には293人であったが、平成20年には190人、令和4年には136名にまで減少している。日本人漁業就業者の減少に伴い、外国人技能実習生や特定技能外国人を受け入れる漁家も増加しており、漁業を継続していくため、各経営体の漁労所得の向上、操業コストの削減に加え、新規漁業就業者の確保・育成が地域全体の大きな課題となっている。

銚子地域の漁業者は、これまでもうかる漁業創設支援事業（沖合底びき網漁業）、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（小型機船底びき網漁業等）等の事業を活用し、漁獲物の高鮮度化や操業の効率化による漁労所得向上に資する取組を行ってきた。しかし、未だ漁船の老朽化が進んでいる経営体もあることから、今後も引き続き操業の効率化や燃油の削減を目的とした漁船の更新が必要な状況である。

## （2）その他の関連する現状等

銚子漁港は、マグロ類、カジキ類等が水揚げされる第一市場、イワシ類、サバ類等が水揚げされる第二市場、底びき網漁業や一本釣り漁業で漁獲される多様な魚種が水揚げされる第三市場を擁している。第一市場は、東日本大震災の際に一部が倒壊したが、平成27年に高度衛生管理型荷捌施設として整備され、衛生管理や品質の向上を図っている。第二市場及び第三市場も新たな整備計画が進んでいる。第二市場は附帯施設となるトラックスケールも併せ、令和7年までに整備される予定である。第三市場は第一市場と同様に高度衛生管理型の市場として令和6年度から本格的な運用を開始する予定である。

銚子地域では、これまで地元の漁業者、仲買業者、飲食業者が協力した取組が少なかったが、近年はバリューチェーンの構築等、市や県を含めた地域間で連携した取組を始め、銚子産の水産物の認知度の向上による観光・飲食需要の増加を見据えた活動を行っている。

また、銚子沖の一部海域は、海洋再生可能エネルギー発電設備事業促進区域に指定されており、対象海域には着床式の風力発電施設（風車）計31基が建設され、令和10年度から運用が開始される予定である。風車の周辺に新たな魚礁を設置することで漁業生産の一助となる可能性に加え、観光資源としての活用についても検討している。

## 3 活性化の取組方針

### （1）前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--

## (2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

前期のプランでは沖合底びき網漁業の1経営体(4隻)がもうかる漁業創設支援事業を活用し、予定していた協業化と小型船への転換を完了し、新設備による収入向上に努めた。また、老朽化が進んでいた残る大型船1隻も代船を取得した。今期のプランでは、沖合底びき網漁業に加え、小型機船底びき網(板びき網)漁業、キンメダイ立縄漁業において、引き続き水揚物の高鮮度化や付加価値向上による流通・販売対策の取組を行う。

### 1 漁業収入向上のための取組

#### (1) 漁獲物の鮮度保持の強化

- ① 全ての漁業者は、令和6年度より本格的な運用を開始するEU-HACCPにも対応可能な高度衛生管理型の第三市場を活用し、高鮮度の漁獲物を供給することで、単価向上を図る。また、市場へ供給するまでの鮮度管理を徹底し、収益向上に努める。
- ② 沖合底びき網漁業者は、より高鮮度で安全性の高い漁獲物を提供するため、新衛生殺菌装置とブライン間接冷却システムを活用し、新衛生殺菌水を効果的に使用する。また、各船で鮮度管理の差が生じないように、引き続き操業形態に適した鮮度保持について水産総合研究センターや他の船と情報交換を行いながら取り組む。
- ③ 小型機船底びき網(板びき網)漁業者は、船団全体の水揚単価を底上げするため、漁期が始まる9月などの暑さが厳しい時期には効果的に冷蔵設備を活用し、高鮮度保持に努める。また、冷蔵設備を持たない船は、既存の製氷工場の氷を効果的に活用し、鮮度ムラが出ないように努めるとともに、冷蔵設備の導入について検討する。
- ④ キンメダイ立縄漁業者は、船団全体で効果的な衛生管理、鮮度管理を行うため、令和元年度に導入した保冷カバーを継続して使用する。また、令和6年度に全面整備される高度衛生管理市場はEU-HACCPへの対応を検討していくことから、漁業者はEU輸出に対応した生産漁船のHACCPの認定取得についても検討する。

#### (2) 産地としての認知度向上、付加価値向上対策

- ① 銚子市漁協及び全ての漁業者は、銚子地域水産バリューチェーン協議会と連携し、消費者の認知度向上、付加価値の向上を図るため、底びき網漁業で漁獲されるヤリイカやメヒカリ(アオメエソ)、ヒラメ、サルエビ、ホウボウ等や立縄漁業で漁獲されるキンメダイを「銚子のさかな」として都市部の消費者や、銚子への観光客に向けて情報発信する。

#### (3) 資源管理の取組の推進

- ① 全ての漁業者は、公的規制を遵守することに加え、沖合底びき網漁業における資源管理協定(千葉県沖合海区資源管理計画から令和5年度末までに移行)、銚子市漁業協同組合の漁業者が締結する資源管理協定(千葉県における銚子市漁業協同組合の資源管理協定)等に基づく資源管理のほか、地元漁業者の申合せによる沖合底びき網漁業者の「操業や水揚方法の自主管理」や小型船漁業の自主的な資源管理を実施し、水産資源の維持・管理に努める。

### 2 漁業コスト削減のための取組

#### (1) スマート水産業関連事業を活用した操業の効率化によるコストの削減

- ① 全ての漁業者は、水産業のスマート化推進支援事業等を活用し、操業の効率化による漁場の探索時間の削減や水揚作業の効率化を行うことで、燃油費や人件費等のコストの削減を図る。
- ② 小型機船底びき網(板びき網)漁業者は、令和4年度から導入しているデジタル操業日誌と環境測定機器によるデータ収集を継続して行う。得られたデータについては、千葉県水産総合研究センターが解析を行い、漁業者は解析結果をもとに操業の効率化を図る。

#### (2) 漁業経営セーフティーネット構築事業の活用

- ① 近年は燃油の高騰が続いているため、全ての漁業者は千葉県漁業協同組合連合会と連携し、セーフティーネット構築事業の活用を推進し、燃油高騰の影響を縮減する。
- ② 全ての漁業者は、漁場への移動を減速航行することにより、燃油消費量を削減する。

### 3 漁村活性化のための取組

- (1) 新規漁業就業者及び中核的漁業者等の確保と育成
- ①全ての漁業者は、国及び県等の新規就業者対策事業を活用し、インターンシップの受入や就業相談会、就業支援フェア等を通して新規就業者の確保・育成に取り組む。
  - ②銚子市漁協は、漁業者の水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（漁船リース事業）及び競争力強化機器等導入事業等の活用を支援し、中核的漁業者の育成を図る。
- (2) 銚子地域水産バリューチェーン協議会による「銚子のさかな」のPR
- ①銚子市漁協及び漁業者は、銚子地域水産バリューチェーン協議会の構成員として、関係者と連携し、消費者の認知度向上、観光客の誘致のため、銚子港水産まつり等地域のイベントを活用した観光客の呼び込みや地元飲食店等における「銚子のさかな」のPR（共通ののぼりの設置等）を行うことで、地元水産業の活性化を図る。
- (3) 市場施設を活用した海業の推進
- ①銚子市漁協は、既存施設（第一市場）に加えて、令和6年度に完成する高度衛生管理型施設（第三市場）に地元教育機関（小中高生）や観光客等の見学者を受け入れることで、地域の水産業への理解促進を図る。

(3) 資源管理に係る取組

- 【沖合底びき網漁業】**
- ①公的規制の遵守及び自主的資源管理措置を地区ごとに実施
  - ②千葉県沖合海区資源管理計画（令和5年度末までに協定へ移行）に基づく自主的管理措置の実施
  - ③その他の自主的管理措置の実施  
チェーンによりグランドロープと身網の下端部に25cmの間隙を設定。  
袖網の目合を150mm、奥袖及び脇1段の目合を90mm、ベーキング3段の目合を75mmに拡大。  
2～3月にサメガレイ、キチジを対象とした操業を行わない区域、4～6月にヤナギムシガレイ、キアンコウを対象とした操業を行わない区域を設定。
  - ④漁業者の自主的取組  
「はさき漁協・銚子市漁協所属沖合底曳船のナマコ漁について（確認書）」  
数量の制限（1回当たりトロ箱10個まで）  
漁期の制限（5～6月、10～12月）  
水揚方法の制限（全量を水抜穴のない専用のトロ箱に移しかえて上場）
- 【小型機船底びき網（板びき網）漁業】**
- ①公的規制の遵守
  - ②千葉県における銚子市漁業協同組合の資源管理協定に基づく自主的資源管理措置の実施
- 【キンメダイ立縄漁業】**
- ①千葉県における銚子市漁業協同組合の資源管理協定に基づく自主的資源管理措置の実施
  - ②その他の自主的管理措置の実施  
底はえ縄漁法の禁止  
漁具の制限（1縄当たりの針数60本以内）  
操業時間の制限  
休漁日及び禁漁区の設定（毎週日曜日及び市場休場日）  
小型魚の再放流（尾叉長20.5cm以下）

(4) 具体的な取組内容

1年目（令和6年度） 所得向上率（基準年比）0.0%

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 漁獲物の鮮度保持の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①全ての漁業者は、11月より運用を開始する高度衛生管理型の第三市場を活用し、高鮮度の漁獲物を供給する。</li> <li>②銚子市漁協は、市場のEU輸出に向けたHACCPの認定取得等さらなる単価向上に有効な運用方法を検討する。</li> </ul>
--------------	--

	<p>③沖合底びき網漁業者、板びき網漁業者は、休漁期間中に千葉県水産総合研究センターや各船と冷蔵設備や高鮮度保持の手法についての情報交換を行い、全船が高鮮度の水揚物を水揚げすることによる、単価の底上げを図る。</p> <p>④キンメダイ立縄漁業者は、令和元年度に導入した保冷カバーを継続して使用し、全船が統一した水揚物の高鮮度保持を行う。また、EU向け輸出に対応した生産漁船のHACCPの認定取得について検討する。</p> <p>(2)産地としての認知度向上、付加価値向上対策</p> <p>①銚子市漁協及び漁業者は、銚子地域水産バリューチェーン協議会の構成員として、関係者と連携し、底びき網漁業や立縄漁業で漁獲する「銚子のさかな」を都市部の販売店等でのフェアを通じてPRし、認知度の向上、消費者のニーズに即した付加価値の向上を図る。</p> <p>(3)資源管理の取組の推進</p> <p>①全ての漁業者は、法令の遵守と自主的な取組を継続する。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>(1)スマート水産業関連事業を活用した操業の効率化によるコストの削減</p> <p>①全ての漁業者は、水産業のスマート化推進支援事業等を活用し、操業の効率化を行うことができる機器の導入を検討する。</p> <p>②板びき網漁業者は、令和4年度から導入しているデジタル操業日誌及び環境測定機器のデータ収集を継続し、千葉県水産総合研究センターが行う収集データの解析結果を活用することで、操業の効率化を図る。</p> <p>(2)漁業経営セーフティーネット構築事業の活用</p> <p>①全ての漁業者は、セーフティーネット構築事業の活用を千葉県漁業協同組合連合会等と連携して推進し、燃油高騰の影響の縮減を図る。</p> <p>②全ての漁業者は、漁場への移動を減速航行することにより、燃油消費量の削減を図る。</p>
<p>漁村の活性化のための取組</p>	<p>(1)新規漁業就業者及び中核的漁業者等の確保・育成</p> <p>①全ての漁業者は、担い手が不足している経営体を中心に、全国漁業就業支援フェア等を活用し、新たな担い手の確保に取り組む。</p> <p>②銚子市漁協は、地域の中心となる中核的漁業者の育成に取り組む。</p> <p>(2)銚子地域水産バリューチェーン協議会による「銚子のさかな」のPR</p> <p>①銚子市漁協及び漁業者は、協議会の構成員として、関係者と連携し、市内飲食店や小売店において共通ののぼりを設置し、銚子港水産まつり等の地域イベントでも使用することで、「銚子のさかな」を連携してPRし、地域外からの観光客の誘致に加え、消費者の認知度向上を図る。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）</li> <li>・水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（浜の担い手漁船リース緊急事業）（国）</li> <li>・経営体育成総合支援事業（国）</li> <li>・漁業経営セーフティーネット構築事業（国）</li> <li>・水産業成長産業化沿岸地域創出事業（新リース事業）（国）</li> <li>・水産流通基盤整備事業（国）</li> <li>・水産業のスマート化推進支援事業（国）</li> <li>・水産物価格形成力強化総合対策事業（県）</li> <li>・千葉の農林水産物輸出促進事業（県）</li> <li>・新規漁業者確保定着支援事業（県）</li> <li>・スマート水産業実装化支援事業（県）</li> </ul>

2年目（令和7年度） 所得向上率（基準年比）2.6%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>(1) 漁獲物の鮮度保持の強化</p> <p>①全ての漁業者は、高度衛生管理型の第三市場を活用し、高鮮度の漁獲物を供給する。</p> <p>②銚子市漁協は、市場のEU輸出に向けたHACCPの認定取得等さらなる単価向上に有効な運用方法を検討する。</p> <p>③沖合底びき網漁業者、板びき網漁業者は、休漁期間中に千葉県水産総合研究センターや各船と冷蔵設備や高鮮度保持の手法についての情報交換を行い、全船が高鮮度の水揚物を水揚げすることによる、単価の底上げを図る。</p> <p>④キンメダイ立縄漁業者は、保冷カバー等を継続して使用し、全船が統一した水揚物の高鮮度保持を行う。また、EU向けの輸出に対応した生産漁船のHACCPの認定取得について検討する。</p> <p>(2) 産地としての認知度向上、付加価値向上対策</p> <p>①銚子市漁協及び漁業者は、銚子地域水産バリューチェーン協議会の構成員として、関係者と連携し、底びき網漁業や立縄漁業で漁獲される「銚子のさかな」をPRすることで、消費者の認知度向上、消費者ニーズに即した付加価値の向上を図る。</p> <p>(3) 資源管理の取組の推進</p> <p>①全ての漁業者は、法令の遵守と自主的な取組を継続する。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>(1) スマート水産業関連事業を活用した操業の効率化によるコストの削減</p> <p>①全ての漁業者は、水産業のスマート化推進支援事業等を活用し、操業の効率化につながるスマート機器の導入が可能な漁業種類から順次導入を進める。</p> <p>②板びき網漁業者は、デジタル操業日誌と環境測定機器のデータ収集を継続し、千葉県水産総合研究センターが行うデータ解析の結果をもとに、操業の効率化を図る。</p> <p>(2) 漁業経営セーフティーネット構築事業の活用</p> <p>①全ての漁業者は、セーフティーネット構築事業の活用を千葉県漁業協同組合連合会等と連携して推進し、燃油高騰の影響の縮減を図る。</p> <p>②全ての漁業者は、漁場への移動を減速航行することにより、燃油消費量の削減を図る。</p>
<p>漁村の活性化のための取組</p>	<p>(1) 新規漁業就業者及び中核的漁業者等の確保・育成</p> <p>①全ての漁業者は、担い手が不足している経営体を中心に、全国漁業就業支援フェア等を活用し、新たな担い手の確保に取り組む。</p> <p>②銚子市漁協は、地域の中心となる中核的漁業者の育成に取り組む。</p> <p>(2) 銚子地域水産バリューチェーン協議会による「銚子のさかな」のPR</p> <p>①銚子市漁協及び漁業者は、協議会の構成員として、関係者と連携し、市内飲食店や小売店において共通ののぼりを設置し、銚子港水産まつり等の地域イベントでも使用することで、「銚子のさかな」を連携してPRし、地域外からの観光客の誘致に加え、消費者の認知度向上を図る。</p> <p>(3) 海業の推進</p> <p>①銚子市漁協は、新たに整備した高度衛生管理型施設（第三市場）に見学者を受け入れることで、地元教育機関や観光客等を対象に地元の水産業への理解促進を図る。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）</li> <li>・水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（浜の担い手漁船リース緊急事業）（国）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営体育成総合支援事業（国）</li> <li>・漁業経営セーフティネット構築事業（国）</li> <li>・水産業成長産業化沿岸地域創出事業（新リース事業）（国）</li> <li>・水産流通基盤整備事業（国）</li> <li>・水産業のスマート化推進支援事業（国）</li> <li>・水産物価格形成力強化総合対策事業（県）</li> <li>・新規漁業者確保定着支援事業（県）</li> <li>・スマート水産業実装化支援事業（県）</li> </ul>
--	---

3年目（令和8年度） 所得向上率（基準年比）5.1%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>（1）漁獲物の鮮度保持の強化</p> <p>①全ての漁業者は、高度衛生管理型の第三市場を活用し、高鮮度の漁獲物を供給する。</p> <p>②銚子市漁協は、市場のEU輸出に向けたHACCPの認定取得等さらなる単価向上に有効な運用方法を検討する。</p> <p>③沖合底びき網漁業者、板びき網漁業者は、休漁期間中に千葉県水産総合研究センターや各船と冷蔵設備や高鮮度保持の手法についての情報交換を行い、全船が高鮮度の水揚物を水揚げすることによる、単価の底上げを図る。</p> <p>④キンメダイ立縄漁業者は、保冷カバー等を継続して使用し、全船が統一した水揚物の高鮮度保持を行う。また、EU向けの輸出に対応した生産漁船のHACCPの認定取得について検討する。</p> <p>（2）産地としての認知度向上、付加価値向上対策</p> <p>①銚子市漁協及び漁業者は、銚子地域水産バリューチェーン協議会の構成員として関係者と連携し、底びき網漁業や立縄漁業で漁獲される「銚子のさかな」をPRすることで、消費者の認知度向上、消費者ニーズに即した付加価値の向上を図る。</p> <p>（3）資源管理の取組の推進</p> <p>①全ての漁業者は、法令の遵守と自主的な取組を継続する。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>（1）スマート水産業関連事業を活用した操業の効率化によるコストの削減</p> <p>①全ての漁業者は、水産業のスマート化推進支援事業等を活用し、操業の効率化につながるスマート機器の導入が可能な漁業種類から順次導入を進める。</p> <p>②板びき網漁業者は、デジタル操業日誌と環境測定機器のデータ収集を継続し、千葉県水産総合研究センターが行うデータ解析の結果をもとに、操業の効率化を図る。</p> <p>（2）漁業経営セーフティネット構築事業の活用</p> <p>①全ての漁業者は、セーフティネット構築事業の活用を千葉県漁業協同組合連合会等と連携して推進し、燃油高騰の影響の縮減を図る。</p> <p>②全ての漁業者は、漁場への移動を減速航行することにより、燃油消費量の削減を図る。</p>
<p>漁村の活性化のための取組</p>	<p>（1）新規漁業就業者及び中核的漁業者等の確保・育成</p> <p>①全ての漁業者は、担い手が不足している経営体を中心に、全国漁業就業支援フェア等を活用し、新たな担い手の確保に取り組む。</p> <p>②銚子市漁協は、地域の中心となる中核的漁業者の育成に取り組む。</p> <p>（2）銚子地域水産バリューチェーン協議会による「銚子のさかな」のPR</p> <p>①銚子市漁協及び漁業者は、協議会の構成員として、関係者と連携し、市内飲食店や小売店において共通ののぼりを設置し、銚子港水産まつり等</p>

	<p>の地域イベントでも使用することで、「銚子のさかな」を連携してPRし、地域外からの観光客の誘致に加え、消費者の認知度向上を図る。</p> <p>(3) 海業の推進</p> <p>①銚子市漁協は、新たに整備した高度衛生管理型施設（第三市場）に見学者を受け入れることで、地元教育機関や観光客等を対象に地元の水産業への理解促進を図る。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）</li> <li>・水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（浜の担い手漁船リース緊急事業）（国）</li> <li>・経営体育成総合支援事業（国）</li> <li>・漁業経営セーフティーネット構築事業（国）</li> <li>・水産業成長産業化沿岸地域創出事業（新リース事業）（国）</li> <li>・水産業のスマート化推進支援事業（国）</li> <li>・水産物価格形成力強化総合対策事業（県）</li> <li>・新規漁業者確保定着支援事業（県）</li> <li>・スマート水産業実装化支援事業（県）</li> </ul>

4年目（令和9年度） 所得向上率（基準年比）7.7%

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 漁獲物の鮮度保持の強化</p> <p>①全ての漁業者は、高度衛生管理型の第三市場を活用し、高鮮度の漁獲物を供給する。</p> <p>②銚子市漁協は、市場のEU輸出に向けたHACCPの認定取得等さらなる単価向上に有効な運用方法を検討する。</p> <p>③沖合底びき網漁業者、板びき網漁業者は、休漁期間中に千葉県水産総合研究センターや各船と冷蔵設備や高鮮度保持の手法についての情報交換を行い、全船が高鮮度の水揚物を水揚げすることによる、単価の底上げを図る。</p> <p>④キンメダイ立縄漁業者は、保冷カバー等を継続して使用し、全船が統一した水揚物の高鮮度保持を行う。また、EU向けの輸出に対応した生産漁船のHACCPの認定取得について検討する。</p> <p>(2) 産地としての認知度向上、付加価値向上対策</p> <p>①銚子市漁協及び漁業者は、銚子地域水産バリューチェーン協議会の構成員として、関係者として連携し、底びき網漁業や立縄漁業で漁獲される「銚子のさかな」をPRすることで、消費者の認知度向上、消費者ニーズに即した付加価値の向上を図る。</p> <p>(3) 資源管理の取組の推進</p> <p>①全ての漁業者は、法令の遵守と自主的な取組を継続する。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>(1) スマート水産業関連事業を活用した操業の効率化によるコストの削減</p> <p>①全ての漁業者は、水産業のスマート化推進支援事業等を活用し、操業の効率化につながるスマート機器の導入が可能な漁業種類から順次導入を進める。</p> <p>②板びき網漁業者は、デジタル操業日誌と環境測定機器のデータ収集を継続し、千葉県水産総合研究センターが行うデータ解析の結果をもとに、操業の効率化を図る。</p> <p>(2) 漁業経営セーフティーネット構築事業の活用</p> <p>①全ての漁業者は、セーフティーネット構築事業の活用を千葉県漁業協同組合連合会等と連携して推進し、燃油高騰の影響の縮減を図る。</p> <p>②全ての漁業者は、漁場への移動を減速航行することにより、燃油消費量</p>

	の削減を図る。
漁村の活性化のための取組	<p>(1) 新規漁業就業者及び中核的漁業者等の確保・育成</p> <p>①全ての漁業者は、担い手が不足している経営体を中心に、全国漁業就業支援フェア等を活用し、新たな担い手の確保に取り組む。</p> <p>②銚子市漁協は、地域の中心となる中核的漁業者の育成に取り組む。</p> <p>(2) 銚子地域水産バリューチェーン協議会による「銚子のさかな」のPR</p> <p>①銚子市漁協と漁業者は、協議会の構成員として、関係者と連携し、市内飲食店や小売店において共通ののぼりを設置し、銚子港水産まつり等の地域イベントでも使用することで、「銚子のさかな」を連携してPRし、地域外からの観光客の誘致に加え、消費者の認知度向上を図る。</p> <p>(3) 海業の推進</p> <p>①銚子市漁協は、新たに整備した高度衛生管理型施設（第三市場）に見学者を受け入れることで、地元教育機関や観光客等を対象に地元の水産業への理解促進を図る。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）</li> <li>・水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（浜の担い手漁船リース緊急事業）（国）</li> <li>・経営体育成総合支援事業（国）</li> <li>・漁業経営セーフティネット構築事業（国）</li> <li>・水産業成長産業化沿岸地域創出事業（新リース事業）（国）</li> <li>・水産業のスマート化推進支援事業（国）</li> <li>・水産物価格形成力強化総合対策事業（県）</li> <li>・新規漁業者確保定着支援事業（県）</li> <li>・スマート水産業実装化支援事業（県）</li> </ul>

5年目（令和10年度） 所得向上率（基準年比）10.2%

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 漁獲物の鮮度保持の強化</p> <p>①全ての漁業者は、高度衛生管理型の第三市場を活用し、高鮮度の漁獲物を供給する。</p> <p>②銚子市漁協は、市場のEU輸出に向けたHACCPの認定取得等さらなる単価向上に有効な運用方法を検討する。</p> <p>③沖合底びき網漁業者、板びき網漁業者は、休漁期間中に千葉県水産総合研究センターや各船と冷蔵設備や高鮮度保持の手法についての情報交換を行い、全船が高鮮度の水揚物を水揚げすることによる、単価の底上げを図る。</p> <p>④キンメダイ立縄漁業者は、保冷カバー等を継続して使用し、全船が統一した水揚物の高鮮度保持を行う。また、EU向けの輸出に対応した生産漁船のHACCPの認定取得について検討する。</p> <p>(2) 産地としての認知度向上、付加価値向上対策</p> <p>①銚子市漁協及び漁業者は、銚子地域水産バリューチェーン協議会の構成員として、関係者と連携し、底びき網漁業や立縄漁業で漁獲される「銚子のさかな」をPRすることで、消費者の認知度向上、消費者ニーズに即した付加価値の向上を図る。</p> <p>(3) 資源管理の取組の推進</p> <p>①全ての漁業者は、法令の遵守と自主的な取組を継続する。</p>
--------------	---

<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>(1) スマート水産業関連事業を活用した操業の効率化によるコストの削減</p> <p>①全ての漁業者は、水産業のスマート化推進支援事業等を活用し、操業の効率化につながるスマート機器の導入が可能な漁業種類から順次導入を進める。</p> <p>②板びき網漁業者は、デジタル操業日誌と環境測定機器のデータ収集を継続し、千葉県水産総合研究センターが行うデータ解析の結果をもとに、操業の効率化を図る。</p> <p>(2) 漁業経営セーフティーネット構築事業の活用</p> <p>①全ての漁業者は、セーフティーネット構築事業の活用を千葉県漁業協同組合連合会等と連携して推進し、燃油高騰の影響の縮減を図る。</p> <p>②全ての漁業者は、漁場への移動を減速航行することにより、燃油消費量の削減を図る。</p>
<p>漁村の活性化のための取組</p>	<p>(1) 新規漁業就業者及び中核的漁業者等の確保・育成</p> <p>①全ての漁業者は、担い手が不足している経営体を中心に、全国漁業就業支援フェア等を活用し、新たな担い手の確保に取り組む。</p> <p>②銚子市漁協は、地域の中心となる中核的漁業者の育成に取り組む。</p> <p>(2) 銚子地域水産バリューチェーン協議会による「銚子のさかな」のPR</p> <p>①銚子市漁協及び漁業者は、協議会の構成員として、関係者と連携し、市内飲食店や小売店において共通ののぼりを設置し、銚子港水産まつり等の地域イベントでも使用することで、「銚子のさかな」を連携してPRし、地域外からの観光客の誘致に加え、消費者の認知度向上を図る。</p> <p>(3) 海業の推進</p> <p>①銚子市漁協は、新たに整備した高度衛生管理型施設（第三市場）に見学者を受け入れることで、地元教育機関や観光客等を対象に地元の水産業への理解促進を図る。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）</li> <li>・水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（浜の担い手漁船リース緊急事業）（国）</li> <li>・経営体育成総合支援事業（国）</li> <li>・漁業経営セーフティーネット構築事業（国）</li> <li>・水産業成長産業化沿岸地域創出事業（新リース事業）（国）</li> <li>・水産業のスマート化推進支援事業（国）</li> <li>・水産物価格形成力強化総合対策事業（県）</li> <li>・新規漁業者確保定着支援事業（県）</li> <li>・スマート水産業実装化支援事業（県）</li> </ul>

(5) 関係機関との連携

<p>①取組の効果が十分発揮されるよう、行政（千葉県、銚子市）、関係団体（千葉県漁業協同組合連合会等）との連携を図りながら実施する。</p> <p>②漁業収入向上対策：鮮度保持機能の強化にあたっては、千葉県漁業協同組合連合会及び千葉県水産総合研究センター流通加工研究室と連携して実施する。</p>
--

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

<p>年に1度銚子市漁協、県及び市で取組状況を共有する場を設け、取組の進捗確認及び漁業者や地元自治体の視点からの評価・分析を行う。</p>
---

#### 4 目標

##### (1) 所得目標

漁業者の所得の向上10%以上	基準年		千円
			千円
	目標年		千円
			千円

##### (2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

##### (3) 所得目標以外の成果目標

底びき網漁業の水揚単価	基準年	平成30年度～ 令和4年度の 5中3平均：	583	(円/kg)
	目標年	令和10年度：	607	(円/kg)

高度衛生管理型施設の見学者受入数	基準年	令和元年度：	3,632	(人)
	目標年	令和10年度：	4,000	(人)

##### (4) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>(1) 底びき網漁業の水揚単価          高度衛生管理型の荷さばき施設を利用した高鮮度の漁獲物の水揚げ、銚子地域水産バリューチェーン協議会と連携した底魚（底びき網漁業の水揚物）のPR、販売促進を行うことで、高度衛生管理型施設を年間を通して使用する2年目から毎年単価の1%向上、5年間で4%の向上を目標とする。基準年については所得目標の算出方法と同様とし、沖合底びき網漁業は5中3平均、小型機船底びき網漁業は直近3年平均を用いた。</p>				
<p>(2) 高度衛生管理型市場の見学者受入数          漁村活性化や地元水産業の理解促進に資する地元教育機関や観光客の見学受入について、</p>				

地元教育機関（小中高生）の課外学習の受入を積極的に行うことで、既存施設（第一市場）及び新たに整備する高度衛生管理型施設（第三市場）の見学者総受入数を基準年の約1.1倍にすることを目標とする。コロナ禍の影響により近年は見学者の受入を停止していたため、基準年はコロナ禍以前の令和元年度とした。

## 5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）	内容：生産性の向上や省力・省コスト化に資する漁業用機器等を導入し、漁業コストの削減を図り、漁業所得の向上を図る。 関係性：中核的漁業者等の確保と育成、漁業コストの削減
水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（浜の担い手漁船リース緊急事業）（国）	内容：中核的漁業者への漁船リースの取組を支援し、経営体質を強化して漁業所得の向上を図る。 関係性：新規漁業就業者及び中核的漁業者等の確保と育成、漁業コストの削減
経営体育成総合支援事業（国）	内容：地域で次世代の漁業の担い手となる新規漁業就業者の確保・育成を行い漁業所得の向上を図る。 関係性：新規漁業就業者及び中核的漁業者等の確保・育成
漁業経営セーフティネット構築事業（国）	内容：燃油の高騰に対する対策として取り組み、経営の安定を図る。 関係性：燃油急騰時における経営支援
水産業成長産業化沿岸地域創出事業（新規リース事業）（国）	内容：必要な船舶や漁具の入手を行う。 関係性：資源管理の推進、魚価向上
水産流通基盤整備事業（国）	内容：老朽化した第三卸売市場の荷さばき所No.1を撤去後、新たに高度衛生管理型荷さばき所を新設し、効率的な作業動線の確保と高度衛生管理の推進を図る。 関係性：水揚作業の効率化、高鮮度の保持
水産業のスマート化推進支援事業（国）	内容：スマート機器を導入し、生産性向上、操業の効率化を図る。 関係性：操業の効率化、漁業コストの削減
水産物価格形成力強化総合対策事業（県）	内容：地域水産物の高付加価値化やブランド化の推進に係る取組への支援 関係性：販売体制強化
千葉の農林水産物輸出促進事業（県）	内容：千葉県産の農林水産物やその加工品を輸出する取組に対する支援 関係性：漁業者団体や漁協が行う輸出に係る取組
新規漁業者確保定着支援事業（県）	内容：新規就業者の確保・育成を目的とした体験、研修等段階に応じた支援 関係性：新規漁業就業者の確保・育成
スマート水産業実装化支援事業（県）	内容：操業の効率化に資するスマート機器の導入の支援 関係性：漁業コスト削減に係る操業の効率化